

令和5年度第9回研究全体会

日時 令和6年3月13日(水)14:30-15:45

1 校長より 来年度の研究について(概要 資料あり)

- 「児童の主体性の育成」の研究テーマのもと、研究協力校指定を受ける。「学習」に特化し、児童が主体となる「学習時間」の創出を副題とする。
- 教科の学習 (S)と生活・総合的な学習の時間 (P) の研究を行う。

2 今年度の成果と課題(研究便り第5号より)

学力向上部 特別活動部 LIM 部

研究主任 千代田区立和泉小研究発表会報告

元青空小学校長・木村泰子氏

「子供の主体性を育むために教員が何をすべきか」という発想そのものを転換する必要がある。子供を信じて、任せて、やらせてみる。教員は、子供の様子を見取り、適切に評価していくことで、子供が勝手に伸びていく。

3 今年度見えた子供の主体的な姿(グループワーク)

どんな場面でどんな姿が見られたか?

グループ1 (15分)



グループ2 (10分)



4 副校長より 今年度のまとめ



○4月から現在まで変わってきたところは？

- ・協議会での話が活発になっている。
- ・2月、他校での研究授業を見て「主体性の授業ではない」と捉えていた。
- ・新しく着任する教員に校内を案内すると机の配置について驚かれる。
- ・まだまだこれからの研究だと思うが、一緒にしっかり考えていって、三吾のスタイルができるといい

- ・今日、キーワードとして出ていた「見取り」これが重要になってくるだろう。見取りに基づいた評価が子供たちの主体性を伸ばすだろう

